

江戸狩野派 の古典学習

—その基盤と広がり—

2021
5.18(火)

前期: 5月18日(火)～6月6日(日)
後期: 6月8日(火)～6月27日(日)

6.27(日)

開館時間=10:00～17:30(入室は17:00まで) 休館日=毎週月曜日
観覧料=一般300円(200円)、70歳以上・大学生以下無料 主催=静岡県立美術館

※()内は20名以上の団体料金
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料
※本展のみご観覧の場合、「忘れられた江戸絵画史の本流」展はご覧いただけません

の底力—「直模作品」／「倣古図」とは何か?

次回展覧会

「国立ベルリン・エジプト博物館所蔵
古代エジプト展—天地創造の神話」
7月10日(土)～9月5日(日)

静岡市美術館展覧会のご案内

「没後70年 吉田博展」
6月19日(土)～8月29日(日)

静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art

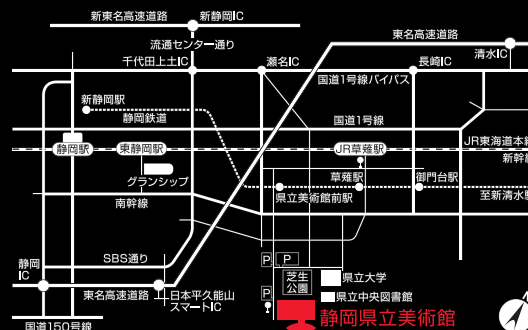
〈交通案内〉

・JR「草薙駅」東・美術館口から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分
・JR「静岡駅」南口からタクシーで約20分、または北口から静鉄バスで約30分
・JR「東静岡駅」南口からタクシーで約15分、または静鉄バスで約20分
・静鉄「県立美術館前駅」から徒歩約15分、または静鉄バスで約3分
・東名高速道路・静岡IC、清水IC、または新東名高速道路・新静岡ICから車で約25分
日本平久能山スマートICから車で約15分

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2
http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp
Tel. 054-263-5755 / Fax. 054-263-5767



狩野栄信・狩野養信「唐画流書手鑑」(部分)(静岡県立美術館)



忘れられた 江戸絵画史の 本流 —江戸狩野派の 250年—

2021
5.22(土)

前期: 5月22日(土)～6月6日(日)
後期: 6月8日(火)～6月27日(日)

6.27(日)

開館時間=10:00～17:30(入室は17:00まで) 休館日=毎週月曜日
観覧料=一般1200円(1000円)、70歳以上600円(500円)、大学生以下無料 主催=静岡県立美術館

※()内は貸売および20名以上の団体料金 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料
※本展の観覧券で「江戸狩野派の古典学習」展・ロダン館も併せてご覧いただけます
※本展の観覧券(半券可)を池上本門寺で開催される「本門寺の狩野派展」(4/3(土)～6/27(日) 土日祝のみ開館)でご提示いただくと、観覧料が100円引きになります。また、「本門寺の狩野派展」の観覧券(半券)を当館でご提示いただくと、団体料金になります

狩野祐清邦信・狩野永徳立信「花鳥図屏風」(部分)(日照軒コレクション)
狩野中信「鷹狩図」(部分)(日照軒コレクション)

予約優先制(土日祝のみ)

静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art

一挙初公開

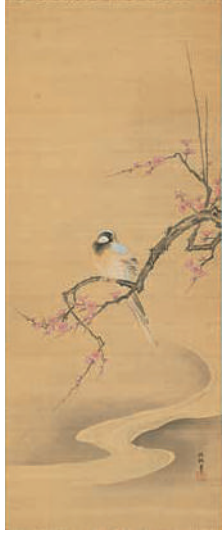
近年、江戸絵画人気は高く、さまざまな画家が紹介されていますが、江戸絵画史の本流を形成した江戸狩野派の画家は、最も活躍した数人を除いて、ほとんど知られていません。江戸狩野派は巨大な組織で、将軍家や大名の注文を受け、画壇の中心で活躍した主要な画家だけでも、100人を優に超えます。本展では、個人コレクターの所蔵する江戸狩野派作品を選りすぐり、彼らの知られざる魅力をご紹介します。展示では、江戸狩野派の基本的なスタイルを築いた中心的な画家の作品だけでなく、民間画壇に接触し、江戸狩野派の画風に多様性をもたらした画家の作品にも注目し、江戸狩野派の幅広い展開をご覧ください。

江戸初期から幕末まで。
江戸時代の250年を
江戸狩野派の作品に
よって駆け抜けます

当館では「狩野派の世界」と題し、定期的に狩野派展を開催しています。本展は、好評を博した「幕末狩野派展」以来、約3年ぶりの「狩野派の世界」となります。本展では、江戸時代を代表する17世紀の画家・狩野探幽や、近年人気の幕末狩野派だけでなく、これまであまり注目されてこなかった18世紀の江戸狩野派の作品も多数紹介します。江戸狩野派の250年にわたる活動の広がりをお楽しみください。



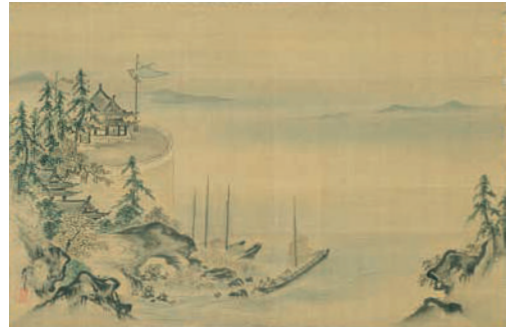
狩野常信「十二ヶ月和歌歌意画帖」(部分)
(日照軒コレクション)



狩野洞琳波信「流水に梅鳥図」
(日照軒コレクション)



狩野祐清英信「寿老人図」
(日照軒コレクション)



狩野典信「山水図」(日照軒コレクション)

江戸狩野派は、江戸城にアトリエを持つ奥絵師4家を頂点に、それを支えた表絵師12家が中核となって活動しました。各家の当主だけでも、江戸時代には約140人もいます。本展では、彼らの作品を時系列で紹介し、その変遷を辿ります。表絵師の画家を系統立てて多数紹介することは本邦初の試みです。江戸狩野派の層の厚さを会場をご覧ください。



狩野寿石敦信
「群仙図屏風」
(日照軒コレクション)

112点の展示作品のうち、
4点以外すべて初公開！
江戸狩野派の知られざる
魅力を掘り下げます

本展では、江戸狩野派コレクターの1500点を超える所蔵品のなかから精選した111点の作品をご紹介します。展示作品は、4点を除く作品がすべて初公開です。知られざる江戸狩野派の世界をご堪能ください。

※1点のみ当館所蔵作品を展示します



狩野洞白陳信「山水図屏風」(日照軒コレクション)



狩野寛静良信「孔雀牡丹図」
(日照軒コレクション)

奥絵師4家、表絵師12家揃い踏み！
総勢80人の画家の作品によって
江戸狩野派の全貌に迫ります

N
(担当学芸員)
現代では江戸狩野派っていまいち人気が無いんだよなあ・・・今度の展覧会、お客様くるかなあ・・・(コロナウィルスの影響も心配だし)



狩野休山は信「諸葛亮孔明図」

ええ～!?僕たち人気無いの!?なんで?!
江戸時代にはずーっと僕たちが画壇のメインだったのに!!

狩野随川甫信「猪・狸・虎図」

確かに、江戸時代は長いから、途中少し気が緩んだ時期はあったかも。僕とか良家に生まれたボンボン育ちだし、あんまり絵が上手くなかったし・・・



狩野古信「獅子舞図」

僕なんか将軍・吉宗公のお気に入りだったんだけど・・・それでも現代ではだめなんですか?!

狩野探信守道「唐子遊印図」

今は民間から彗星のごとく現れた天才とか個性派とか、可愛い系が好まれるんだよね。権力者に好かれたっていうのはマイナスポイントみたい・・・



狩野洞春秀信「白鳩図」(後期展示)

そうなんだ～。でも、普段使いの絵には遊び心のある絵も多いんだけどね。



狩野洞春秀信「白鳩図」(後期展示)

僕なんかけっこう可愛いと思うんだけどなあ～。将軍とかに重用された超お堅い系は江戸狩野派のなかでもトップ中のトップだけだね!



久隅胖曲「虎図」

僕もかなり庶民派な可愛い系の顔んだけど。虎マスコットが某博物館で人気だって聞いたよ!

狩野常辰「群仙図屏風」

と言っても、いま人気のある画家は、けっさく、知名度が高いんだよね・・・



狩野常辰「群仙図屏風」

じゃあ僕たち今の時代に人気出るのは無理だね・・・悲しいな・・・



狩野洞琳由信「(傲雪村)鐘施図」

俺なんか生きてる頃は相当な名人だったんだぞ!何だかんだ言い訳して、Nが頑張ってないだけなんじゃないか!?もっと気合い入れるんだ!!

狩野常辰「群仙図屏風」

ご、ごめんなさい!みんなの魅力が伝わるよう、頑張ります!

狩野常辰「群仙図屏風」

彼らの作品たちと一緒に、皆様のご来館をお待ちしています!

※左側の作品はすべて日照軒コレクション

N

(担当学芸員)

N

N

N

N

N

「忘れられた江戸絵画史の本流」展の開催に併せて、江戸狩野派の古典学習に焦点をあてた特別展示を行います。本展では、さまざまな古典名画への多角的なアプローチによって古典様式のエッセンスを体得し、時代の潮流にあわせてその表現を刷新した江戸狩野派の古典学習の多様な実態をご紹介しますことで、江戸絵画史の本流を形成した江戸狩野派の魅力の本質に迫ります。

狩野探幽の傑作「臨画帖」(重要文化財)とともに

江戸狩野派の代表的な模本や直模作品を展示することで、

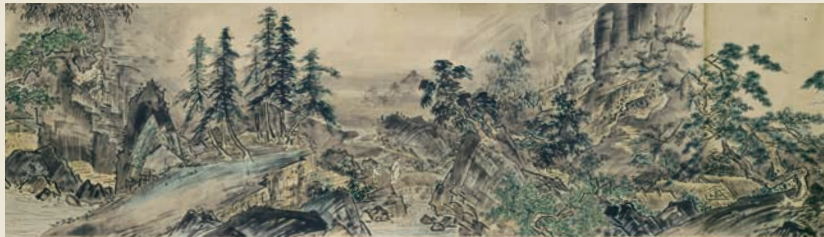
江戸狩野派の古典学習の真髄をご堪能いただきます



狩野探幽「臨画帖」(部分) (個人蔵)



狩野常信「流書手鑑」(部分) (東京国立博物館)
(後期展示)



狩野古信「雪舟原本 山水長巻」(部分) (東京国立博物館) (後期展示)

江戸狩野派が多彩なテクニックを駆使し、

さまざまな古典名画のスタイルを

自在に操った倣古図の名品を

をご紹介します



狩野常信「和漢流書手鑑」(部分)
(個人蔵)



狩野探幽「倣古八景図巻」(部分)
(個人蔵) (前期展示)



「忘れられた江戸絵画史の本流」展・「江戸狩野派の古典学習」展会期中イベント

- 特別講演会 ※当館講堂、申込不要、無料、先着120名程度
講師：並木誠士氏 (京都工芸繊維大学特定教授・美術工芸資料館館長)
「江戸時代絵画の底流—江戸狩野の復権」
5月30日(日) 14:00～15:30
- 館長美術講座 ※当館講堂、申込不要、無料、先着120名程度
講師：木下直之 (当館館長)
「江戸絵画の表と奥について」
6月6日(日) 14:00～15:30
- 美術講座 ※当館講堂、申込不要、無料、先着120名程度
講師：野田麻美 (当館学芸員)
「巨大組織・江戸狩野派の厚みと広がり—その魅力の深層に迫る」
6月13日(日) 14:00～15:30

- フロアレクチャー ※集合場所：企画展第1展示室 申込不要、要観覧料
当館学芸員が展示室にて解説を行います。
5月29日(土)、6月26日(土) いずれも14:00～
- わくわくアトリエ
講師：おおいしもこ氏 (イラストレーター)
「紙工作 ミニ屏風づくり」(仮)
5月23日(日) 対象：小学生から大人まで
- 実技講座
講師：鈴木強氏 (日本画家)
(タイトル未定)
6月12・13日(土・日) 各日10:00～16:30
対象：中学生以上の個人

※わくわくアトリエおよび実技講座は事前申込が必要です。(申込方法・内容詳細は約1ヶ月前に美術館ウェブサイトまたは館内配架チラシでお知らせします)
※新型コロナウイルス感染症拡大状況により、各種イベントは内容や定員の変更あるいは中止になる可能性があります。最新情報は逐次当館ウェブサイトにて告知します。

〈チケット販売所〉前売券は5月21日(金)まで販売
【前売・当日券】チケットぴあ、セブンイレブン(Pコード共通:685-559)、ローソンチケット、ミニストップ(Lコード共通:42192)、セブンチケット、CNプレイガイド(ファミリーマート)、静岡県立美術館
【前売券のみ】大和文庫、戸田書店(江尻台店)、谷島屋(バルシェ店・マークイズ静岡店)、大丸松坂屋友の会、静岡県庁本館1階売店、静岡市美術館ミュージアムショップ、グランシップ、JR草薙駅一部店舗

予約優先制(土日祝のみ)

- ・「忘れられた江戸絵画史の本流」展は、土日祝日のご入場はオンラインで「日時指定WEB指定券(無料)」を取得された方が優先となります。
- ・「日時指定WEB指定券(無料)」をお持ちでなくてもご入場いただけますが、混雑状況によりお待ちいただく場合がございます。
- ・ご予約は、ご来館日の2週間前から受け付けます(各時間帯の定員に達し次第、締め切ります)。
- ・詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください。